

政務活動費収支報告書（会派用）

令和8年4月1日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

住 所 滝沢市中鶴飼55番地
会派の名称 自由民主クラブ
代表者の氏名 鍵本 桂

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第10条第1項~~（第2項）~~の規定により、
下記のとおり令和7年度政務活動費の収支報告書を提出します。

記

1 収入

政務活動費 720,000円（令和7年4月分から令和8年3月分まで）

2 支出

（単位：円）

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	202,580円	三条市立大学、三条市役所視察
研 修 費	0円	
要請陳情等活動費	0円	
会 議 費	0円	
資 料 作 成 費	0円	
資 料 購 入 費	0円	
広 報 費	486,449円	広報誌発行
事 務 費	0円	
その他の経費	0円	
合 計	689,029円	

3 剰余金（返還額） 30,971円

4 預金等利子 0円

注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

令和7年度政務活動費仕訳明細書

【調査研究費】

整理 番号	支 出 内 容	金 額
1	三条市立大学、三条市役所視察	202,580
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
合計		202,580

政務活動費に係る支出仕訳書 (会派名 自由民主クラブ)

執行伺	代表者		経理責任者	
	鍵本 桂		村木 香織	
支出項目	調査研究費		整理番号	1
調査研修等	名称	三条市立大学、三条市役所視察		
	場所	三条市上須頃5002番地5、三条市旭町2丁目3-1		
支出年月日	調査研修等	令和7年7月17日～令和7年7月18日		
	上記以外			
支出金額	202,580円			
支出内訳	交通費：163,400円 (内訳) JR@40,100円×4人=160,400円 タクシー代 600円+600円+1,800円=3,000円 お土産代：5,980円(内訳：2,900円×2か所) 宿泊費：33,200円			
参加議員名	稲荷場 裕、鍵本 桂、安部 理絵、村木 香織			
<<受領書等添付欄>> 別紙のとおり				

報告者氏名 村木 香織

《受領書等添付欄》

領 収 証

2025年 7月 8日

自由民主クラブ 様

金 160,400円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

盛岡803 No.000011

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

自由民主クラブ様

領 収 書

No. 6221

日付 2025年07月17日 16:16
車番 000053 000
メータ運賃 三條市駅 600円
合計 ¥600円
上記の通り領収致しました

消費税率 10%

山越交通株式会社

登録番号 1/110001014411

燕営業所

TEL 0256-63-4400

自由民主クラブ様

領 収 書

2025年 07月 17日

車両番号 0008 アクアポリアル

運賃 ¥600円 三條市駅

合計 ¥600円

(適用税率 10%)

(株)中央タクシー

燕市小池663

電話 0256-63-4702

登録番号:T6110001016029

自由民主クラブ様

領 収 書

2025年 7月 18日

車両番号 0058 アクアポリアル

メーター金額 三條市駅 1800円

割引金額 円

合計 1800円

燕タクシー

燕市秋葉町3丁目20-15

TEL 0256-62-6101

※車ありがとうございます

登録番号:T2110001016065 (適用税率10%)

《受領書等添付欄》

領収証

自由民主クラブ

様 No. _____

但
入金日

¥5,980
お菓子代として
7年 7月 14日

上記正に領収いたしました

盛岡市青山3-18-10
創業工房みやざわ
電話019-647-0048

T4400002000490

収入
印紙

内訳
税抜金額
消費税額等 (8%) 442

領収書

No. 9176

2025/07/17

登録番号: T6110002018627

ご芳名 自由民主クラブ 様
ご利用人数 4人
到着 2025/07/17
出発 2025/07/18
宿泊日数 1泊

[ご利用明細 (EXPLANATION)]	
御宿泊代	4 ¥33,200
△計	¥33,200
□計	¥33,200
10%対象 (内消費税)	¥3,018
精算現金	¥33,200

ご利用誠にありがとうございます。
またのご利用をお待ち申し上げます。
領収書の再発行はお断りいたします。
日程短縮等による返金の場合は領収書が必要になりますのでご注意ください。

収入
印紙

AQA HOTEL

アクアホテル兼三条駅前店

〒965-0092 新潟県三条市須賀1-72

TEL: 0256-36-7700

所番号: T6110002018627

令和7年度政務活動費仕訳明細書

【広報費】

整理 番号	支 出 内 容	金 額
1	広報誌発行	486,449
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
合計		486,449

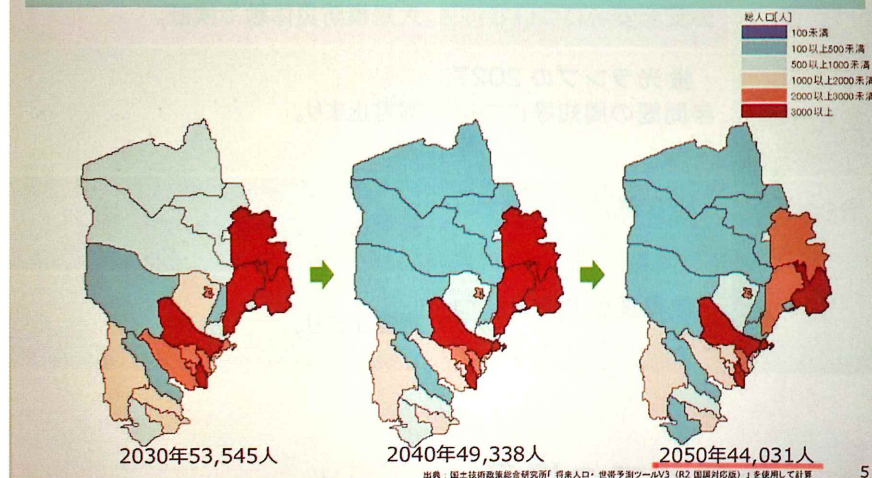
政務活動費に係る支出仕訳書 (会派名 自由民主クラブ)

執行伺	代表者		経理責任者	
	鍵本 桂		村木 香織	
支出項目	広報費		整理番号	1
調査研修等	名称			
	場所			
支出年月日	調査研修等			
	上記以外	令和8年3月17日		
支出金額	486,449円			
支出内訳	広報誌印刷費等：486,449円 配布枚数 15,912枚 業者配り 87枚 手配り 1枚 議会事務局用			
参加議員名	稲荷場 裕、鍵本 桂、安部 理絵、村木 香織			
<<受領書等添付欄>> 別紙のとおり				

報告者氏名 村木 香織

【参考】2050年までの人口推移（滝沢市）

- 滝沢市の総人口は、2050年には2020年比で-21%となる見込み。
- 市北部と市南部から人口が減っていき、2050年には市東部の人口集中地域からも人口が減少。



令和8年1月時点での滝沢市人口が53,861人で、令和32年には本市人口が**44,031人**になると推計されていることに対し、私たちは大きな危機感を感じています。

これまでの当たり前が、正解ではない事を強く市へ提言し、新たな視点で新たな滝沢市が進むよう**自由民主クラブ**は市民のために活動します。

発行者情報

自由民主クラブ 代表 鍵本 桂
〒020-0625 滝沢市葉の木沢山 497-17 090-2796-8254

滝沢市議会会派

自由民主クラブ

活動報告



自由民主クラブとは？

令和5年7月23日に投開票がおこなわれました滝沢市議会議員選挙において、多くの皆様のご支持・ご声援を賜り、初当選させていただいた新人議員3名（鍵本 桂・村木 香織・安部 理絵）と3期目、安定の稲荷場 裕副議長の4名で会派を組む事で県や、国と連携し、滝沢市民の代弁者として活動しています。

会派連携した一般質問、近隣市町の議員・会派と合同視察や、意見交換を行い、滝沢市の課題を、広域での視座で捉えた新たな視点で市へ提言することで、突破口を切り開きます。

この会報誌は、政務活動費で作成しています。

国土交通省で官僚から制度の聞き取り

目的

少子高齢化や人口減少が進む中、バス等の公共交通運手の高齢化や人手不足が深刻化しており、地域公共交通の維持が難しくなっています。本市においても喫緊の課題となっているため、自動運転レベル4相当の運行を目指した自動運転技術の立証や社会受容性向上を目的とした実証実験を実施し、将来的な自動運転バスの社会実装に向けた検討を行う必要があります。

一方、交通事業者も、車両数減少、運手不足・高齢化という問題を抱えており、現行の公共交通の運用のままでは根本的な解決策とはなりません。

公共交通の利便性低下による人口流出の抑制も自動運転バスの導入により解決へ導いていきたいです。



聞き取りから解った成果

- 国は積極的な自動運転への移行を推進しており、令和7年度予算には100億円規模の自動運転事業予算を見込んでいるとのこと。自治体の積極的な活用を望んでいると認識しました。
- 支援事業はレベル4自動運転移動サービス実装に係る初期投資の支援を目的としており、ルート選定などの調査費や実施計画調査など、実施に向けた初期調査も補助対象となり、東北地方整備局の伴走支援も可能とのこと。
- 令和6年度の公募で地方公共団体から申請のあった事業のうち、99の自治体が交付決定をうけており、多くの自治体が自動運転実施へ向け取り組んでいます。また、北海道や北東北など寒冷地域でも採択されており、本市も早急に取り組みを開始する必要があると認識しました。

会議	質問内容	備考
R8年2月 会議	・災害避難時のペットの安全安心について	令和8年10月予定の市民参加型大規模防災体験で検証。
	・蛍光ランプの2027年問題の周知等について	提言止まり。
R8年3月 会議	・市長施政方針について	提言止まり。
	・教育長施政方針について	提言止まり。

一般質問での提言

一般質問とは、議員が行政に対して施策のあり方や今後の方向性をただすことができる場で、議員活動の**花形**とも言われています。

自由民主クラブでは会派間で「この施策をもっと良くするには？」「市民の声にどう応える？」など検討し、少しずつではありますが市の受け止めも変わってきた様に思います。

以前は、提言しても変わらないとの声や、一般質問はパフォーマンスにすぎないなどの声も聞こえてきましたが、これからは根気よく**山を動かす**ために提言を続けてまいります。

一般質問を機に進んだ事

会議	質問内容	備考
R6年6月 会議	・本市内事業者に対する助成処置について	物価高騰対策支援金上限 10 万円、滝沢市商工会エネルギー対策事業継続支援金 1 企業 7 万円の支援につながった。
	・チャグチャグ馬コについて	提言止まり。
	・学校給食センターについて	提言止まり。
	・デジタルを活用した地域の課題解決について	令和 8 年度より母子手帳アプリの運用開始。
R6年9月 会議	・学校活動での服装のあり方について	令和 9 年度より中学校制服統一。
	・子どもの居場所について	提言止まり。
	・市内公園について	令和 8 年度より滝沢市総合公園にインクルーシブ遊具を設置。
	・企業誘致について	ICT 産業集積地の誘致条件を IT 企業に親和性の高い産業分野へ拡大。
	・骨髄バンクドナー支援策について	令和 7 年度より骨髄ドナーと企業へ休業保証支援を開始。
R6年12月 会議	・中心拠点商業地区開発について	出店地元企業へ改修費用や、家賃補助を検討。
	・ビッグルーフ滝沢について	提言止まり。
	・エンディングノートについて	提言止まり。

会議	質問内容	備考
R6年12月 会議	・子育て支援について	国への働きかけもあり令和 8 年度より給食費無償化と、未就学児の医療費を無償化予定。
	・ドローンの活用について	令和 7 年度にドローン事業者と災害も含む包括連携協定を結んだ。
	・地域おこし協力隊の活用について	提言止まり。
R7年3月 会議	・市長施政方針について	提言止まり。
	・教育長施政方針について	提言止まり。
R7年6月 会議	・災害対策について	令和 7 年度より粉ミルクを災害時備蓄し、液体ミルクも検討。
	・地域医療の実態について	国交省へ聞き取りを行い医療と公共交通の連携を模索。
	・子どもがすくすく育つ環境づくりについて	提言止まり。
	・イベント等の動画配信について	提言止まり。
	・民生委員・児童委員について	提言止まり。
R7年9月 会議	・防犯について	提言止まり。
	・頻発する熊出没への対策について	令和 8 年 3 月より市公式 LINE で熊情報を発信。
	・自治会活動のサポート対策について	提言止まり。

会議	質問内容	備考
R7年9月 会議	・地方創生人材支援制度について	副市長人事の参考に。
	・「地域の人事部」支援事業について	先進地視察研修からの提言。
	・ふるさと納税について	先進地視察研修からの提言。
	・公共施設のトイレについて	提言止まり。
R7年12月 会議	・第2次滝沢市総合計画の進捗について	提言止まり。
	・市民の安全安心について	提言止まり。
	・ラーケーションについて	提言止まり。
	・5歳児健康診査について	提言止まり。
	・産業用地整備の現状について	提言止まり。
	・誘致企業の現状について	提言止まり。
	・市政課題の解決に向けた取組について	提言止まり。
	R8年2月 会議	・若年世帯の防災啓発について
・産後ケアについて		令和8年度よりハイリスク妊産婦の通院、入院交通費及び宿泊費を助成予定。

自治体・会派を超えた合同視察



目的

- ・少子高齢化と若年層の人口流出が著しい課題を抱える三条市が地域課題の改善のため日本初の組織形態となる「地域の人事部」設立を目指しどのような経緯で、どの様に地域課題を改善するための市庁舎の組織改革を行っているかの過程を視察することで、同じ課題を抱える滝沢市にも多くの学びを提言するためです。
- ・外部人材を積極的に取り入れ、ふるさと納税寄付額を3倍に伸ばすなど沢山の学びとノウハウを吸収するために視察しました。

成果

- ・地域の人事部では「地方創生人材支援制度」を活用し、経済産業省の官僚が三条市役所へ出向し、地域企業と連携するため1年間に地元企業を800社訪問し、市内の課題抽出・改善の協力依頼をし、地域おこし協力隊などを市庁舎の業務に関わらせることで市職員の意識も向上し、地域課題の改善に意識が向いてきたとのことでした。
- ・三条市の令和2年のふるさと納税寄付額は約7億2千万円でした。3年にふるさと納税の戦略立案・実行を一貫で行う外部人材を公募し、寄付額を約15億800万円に増収、4年には外部委託していたふるさと納税業務を市直営にし、市職員が直接事業者へ出向き、返礼品の登録品数を増やし50億円を突破した経緯と手法を学んだ事で、本市に提言できる事が多々ありました。一般質問につなげます。